

平成27年度第4回地域ネットワーク部会議事要旨

日時：平成28年1月27日（水） 18:05～19:05

場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員：13名

出席者：8名

佐村 博範（琉大病院）、川満 博昭（県立宮古病院）、中上 弘茂（八重山病院）、高江洲 和代（那覇市立病院）、翁長 悦子（中部病院）、宮城 みづえ（琉大病院）増田 昌人（琉大病院）、仲本 奈々（琉大病院）

欠席者：5名 宮里 浩（那覇市立病院）、上田 真（中部病院）、照屋 淳（北部医師会病院）、高江洲 アヤ子（那覇市立病院）、真鶴 善栄（がん患者会連合会）

陪席者：4名 島袋 幸代（中部病院）、前原 克章（よりよい地域医療を応援する会）、南 大介（よりよい地域医療を応援する会）、呉屋 葉子（琉大病院）

[報告事項]

1. 平成27年度第3回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について

佐村部会長より、平成27年度第3回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

2. 平成27年度がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

佐村部会長より、資料2に基づき、平成27年12月31日現在のがん地域連携クリティカルパスの適用状況について、3拠点病院の合計は69例で、施設別では、那覇市立35例、琉大26例、中部病院が8例の順になっていること、疾患別では、乳がん29例、大腸がん26例、胃がん5例、前立腺がん5例、在宅緩和ケア4例の順になっていることが報告された。

3. がん地域連携クリティカルパス説明会 in 石垣 開催報告について

佐村部会長より、12月4日に県立八重山病院にて、がん地域連携クリティカルパス説明会を開催し、パスの経緯と概要、大腸がんパス、前立腺がんパスやPSAパスなどについて説明を行ったことが報告された。医師や看護師を含む医療従事者27名の参加があり、アンケートでは「参考になった」、「活用したい」などの意見があったことが報告された。

4. 地域ネットワーク部会に関する中間評価指標について

井岡特命助教より、沖縄県がん対策推進計画（第2次）の中間評価について、地域ネットワーク部会の分掌分野は、「放射線療法、化学療法、手術療法の充実とチーム医療の推進」と「地域の医療提供体制の推進」で、それぞれ本文と施策・指標マップ、分野アウトカム・中間アウトカム・個別施策、指標リストの4点を分野ごとにまとめている。本文は、【進捗状況】と【さらに取り組むべき事項】で構成されており、【進捗状況】にはアウトカムに関する代表指標の数値や、患者・医療者アンケート調査で得られた数値を入れている。注意点として、今回の患者調査で比較的高い患者満足度が得られたが、低い回収率（26.5%）が大きく影響していると考えられる。【さらに取り組むべき事項】には施策の内容、その下にはアクションプランを書き込んでおり、今後、県と調整して、がん診療連携協議会でも説明予定であることが報告された。

増田委員より、意見等あれば、2/20までに連絡するよう依頼があった。

5. その他

よりよい地域医療を応援する会の前原さんより、九州各県と山口県の 2016 年の取組み事項について、報告があった。各県では、がん種別の会議、二次医療圏単位で情報交換会、がん地域連携の会講演会等を実施しており、福岡県と山口県は化学療法のパスまで広げていることのことだった。

よりよい地域医療を応援する会の南さんより、昨年 11 月にダイコー沖縄で琉大病院 腎泌尿器外科の呉屋先生を講師に招いて前立腺がんパス講演会を行ったことが報告された。講演会を受けた営業員より、開業医にアンケート調査を行ったことや、呉屋先生より、今後、地区ごとで講演会の開催、看護師向け、注射の取り扱いなどについて講演会を行って行きたいと意見があったことが報告された。

増田委員より、真鶴委員が提出した資料、一般社団法人 沖縄県がん患者会連合会の平成 26 年度事業報告、平成 26 年度活動実施報告及び実績、平成 27 年度事業計画案について報告があった。

増田委員より、日本医療マネジメント学会 第 14 回九州・山口連合大会にて、「患者の視座からみたがん地域連携クリティカルパス」と題し、九州各県のがん連携パスの稼働状況や、普及しない原因、患者さんの役に立っているのかなど話し合ったことが報告された。

[協議事項]

1. 前立腺がん地域連携クリティカルパスおよびPSA検診パスの説明会について

仲本委員より、前立腺がん地域連携クリティカルパスおよびPSA検診パスの説明会について、よりよい地域医療を応援する会と琉大病院の腎泌尿器外科が話を進めており、各地区医師会が定例で行っている勉強会に合同で前立腺がんパス説明会を行うことが可能か、各地区医師会への確認依頼が事務局にあったことが報告された。この説明会に地域ネットワーク部会に係ることや、各地区医師会へ協議会議長と地域ネットワーク部会長の連名で依頼文書を出すことについて確認があり、承認された。

2. 今年度（平成 27 年度）事業計画の評価（案）について

仲本委員より、今年度（平成 27 年度）事業計画の評価（案）について提案があり、承認された。

3. 次年度（平成 28 年度）事業計画（案）について

仲本委員より次年度（平成 28 年度）事業計画（案）について提案があり、新たに以下の施策を追加したことが報告された。

施策 3：適用の少ない疾患のパスについて、適用が少ない理由を各疾患 WG で話し合い、改善策を検討する。

施策 4：紙ベースのパスから、電子カルテでの入力・管理が出来るよう進める。

施策 5：パスを使って連携している「かかりつけ施設」から要望や問題点を確認し改善策を検討する。

施策 6：前立腺がん地域連携パスの適用数を増やし PSA 二次検診クリティカルパスの必要性を広める。
佐村部会長より、後日、追加・訂正などの意見があれば、メールにて連絡するよう依頼があった。

4. その他

宮城委員より、前立腺がんパスの運用面について、患者さんが私のカルテを持参していないことや、同意書を取ったかなど周知不足、協力機関でない施設を希望する患者さんが多いなど問題点の報告があった。

佐村部会長より、3 月末で琉大を退職するため、部会長を辞任する旨の申し出があった。後任について、琉大の委員は第一外科の金城医師を、部会長には現在副部会長の宮里委員の推薦があった。また、前立腺がんパスも進んでいるため、腎泌尿器外科の医師に入ってもらってはどうかと提案があった。

5. 次回開催について

回りの開催日は、第一候補は 4 月 20 日で、第二候補は 4 月 6 日となった。